

(様式②-1) 令和2年度事業計画書 (局・統括本部)

[環境創造局 管路保全課]

事業名		
1 款	1 項	2 目
管きよ改良事業		

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
新規・拡充	

中期計画-38の政	
政策番号	主な施策番号

令和元年度 事業評価書 番号	1-1-2 32
令和元年度 事業評価書 番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳					
		国	県			企業債	損益勘定留保資金等
令和2年度	209,179	0					209,179
補助事業 単独事業		補助率 %					
令和元年度	729,593						729,593
増△減	△ 520,414	0	0	0	0	0	△ 520,414

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度
予算	事業費	592,543	633,565	675,538
	企業債+損益勘定留保資金等	592,543	633,565	675,538
決算	事業費	365,107	411,422	302,054
	企業債+損益勘定留保資金等	365,107	411,422	302,054

歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	151,615	---
	企業債+損益勘定留保資金等	151,615	---

方針に関する決裁 種別()
有 () 無 ()

【事業の目的・必要性及び令和2年度実施内容】

本事業は、下水道管布設後30年から50年経過した区域を対象に、既設管の状況を調査し、対策が必要な管きよについて、流下能力の向上や耐衝撃性、耐腐食性が期待できる材質を用いるなどの改良を図っている。

改良工事 L=2,100m

改良対象区域である青葉区大場町と栄区犬山町において改良工事を実施

【実績及び今後見込み】

	27年度実績	28年度決算	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込	3年度見込
改良延長 (m)	3,246	3,335	3,070	3,340	6,300	2,100	1,500

【事業費の内訳】

	2年度	元年度	差引	説明
改良工事業務	209,049	729,463	△ 520,414	当該事業の縮小のため。
事務費	130	130	0	
合計	209,179	729,593	△ 520,414	

【事業スケジュール】

通年

【事業開始年度】

昭和55年

【根拠法令】

下水道法及び下水道施行令

【根拠とするデータ等】

過年度実績

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	下水道維持担当
	新田 巧	佐丸 雄一郎	村上 拡

(様式②-1) 令和2年度事業計画書 (局・統括本部)

[環境創造局 下水道施設管理課]

事業名	
1 款	1 項 2 目
水再生センター・ポンプ場改良事業	

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
新規・拡充	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

令和元年度事業評価書番号	1-1-233
令和元年度事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県		企業債	損益勘定留保資金等
令和2年度	1,020,099					1,020,099
補助事業 単独事業		補助率	%			
令和元年度	1,030,099					1,030,099
増△減	△ 10,000					△ 10,000

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度
予算	事業費	1,066,099	1,042,099	1,021,099
	企業債+損益勘定留保資金等	1,066,099	1,042,099	1,021,099
決算	事業費	1,008,291	950,562	890,260
	企業債+損益勘定留保資金等	1,008,291	950,562	890,260

歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	1,040,008	1,040,008
	企業債+損益勘定留保資金等	1,040,008	1,040,008

方針に関する決裁 種別()
有 () (・無)

【事業の目的・必要性及び令和2年度実施内容】

- ・改良工事は、耐用年数が到達する以前に、①機能的・物理的な原因により機能低下した設備 ②老朽化等により使用限界に達した設備等を対象に、機器や装置の交換や機能追加等を主体に改良し、機能や信頼性の向上、設備の長寿命化を図ります。
- ・水再生センター11か所、汚泥資源化センター2か所、ポンプ場26か所等の施設を対象に改良工事を施行します。

【実績及び今後見込み】

過年度推移と今後の見込み

単位：千円

下水道改良費	H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R元年度見込	R2年度見込
工事請負費	937,452	938,542	1,008,291	950,562	890,260	1,030,000	1,020,000
その他	81	12	0	0	0	99	99
計	937,533	938,554	1,008,291	950,562	890,260	1,030,099	1,020,099

【事業費の内訳】

下水道改良費	R2年度		R元年度		差引		説明
	金額	数	金額	数	金額	数	
工事請負費 (ポンプ場)	228,000	10	274,000	9	△ 46,000	1	ポンプ場電気、機械改良工事等
工事請負費 (水再生センター)	792,000	24	756,000	23	36,000	1	水再生センター等電気、機械改良工事等
その他	99	—	99	—	0	—	旅費、賃借料
計	1,020,099	34	1,030,099	32	△ 10,000	2	

【事業スケジュール】

中期経営計画に基づき水再生センター、汚泥資源化センター、ポンプ場の施設を対象に、機能低下や使用限界に達した水処理、汚泥処理設備を改良します。

【事業開始年度】

昭和52年度

【根拠法令】

地方自治法、地方公営企業法、下水道法、横浜市下水道条例、水質汚濁防止法、公害対策基本法、神奈川県生活環境に関する条例、大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、公害健康被害保障法。

【根拠とするデータ等】

水再生センター等運転管理年報 (H30年度版)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	調査担当
	村上 勝吉	秋元 武	坂本 和彦